第3種郵便物認可　昭和44年5月14日

広報 たかのす

◆発行所　秋田県北秋田郡鷹巣町役場
☎（01866）2－1111
◆編　集　総務課秘書係
◆発行部数　6,700部
◆毎月1日・15日発行
◆頒価10円◆郵便番号018－33
◆印刷所　㈱秋北新聞社

No.225　46・10月15日

10月は「収穫の秋」といわれるほど、海にも山にも、いろいろの食物が穫れ、一年中で一番めぐまれたよい季節です……

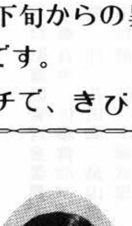
しかしことしの稲作はどうしたことでしょう。８月下旬からの異常低温と日照り不足の天候が続き減収はもちろん品質の低下も避けられない状態です。

農家のみなさんには、減反政策と減収のダブルパンチで、きびしい秋になりそうです。

生涯教育サロン

幸せな一生涯をきずくために
いつでも
どこでも
いつまでも
すべての人が学びあいを

生涯教育について　私の提言



鷹巣教幼稚園長
大井上　稔

人間の一生は教育であるといわれます。「教育されなくては、人間になることはできない」私共人間は正しい教育を受ける権利があります。「人間として生れたものを、ひとり残らず、人間として教育すること」生涯教育が目ざしている一つの指針ではないでしょうか。人間生れてから家庭の教育に始まり幼児、児童、青年と学校教育の中で育てられ成人してからは社会の一員として教育されてまいります。取分け幼児の時期における教育は人間一生の基礎になる事柄でありますので決して疎かにできません。三つ子の魂百までと申します生涯教育の中で幼児教育は最も充実したものにしなければならないと思います。その為には家庭も社会も将来の時代を担う幼児の教育にもっと関心と協力の手を差しのべていただきたい。未来の鷹巣町のために、いや日本のために、そして世界人類のために。

町議会だより

四千五百三十五万六千円を補正 総額で九億九千八百四十万二千円

南部学校給食センター建設など

九月十六日告示招集された九月町議会定例会は、二十日から二十五日の会期で開かれ、昭和四十五年度決算認定案、専決処分、補正予算案、選挙、請願及び条例改正等二十七件が上提され、それぞれについて審議の結果、二十二件を原案どおり決定、五件を継続審議として関係常任委員会に付託閉会しました。

以下、そのおおまかな内容についてお知らせします。

一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千五百三十五万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額を九億九千八百四十万二千円となりました。

歳出についての内訳をみますと、総務費四百二十八万一千円、民生費六十一万円、衛生費五十二万九千円、農林水産業費一千七百七万円、商工費二百六十万一千円、消防費二百二十九万七千円、教育費一千九百八十五万円をそれぞれ追加、土木費は二百十九万六千円を減額しました。

米対策に一千百三十八万円

これらのうちから主なものをあげると、乗用車購入費二百万円、畜産公社出資金百万円、米対策に一千一百三十八万一千円、草地開発事業四百十八万三千円、家畜導入事業補助金九十一万三千円、アワヨトウ病害虫防除対策補助百万円、町中小企業振興貸付金予託二百万円、併用林道橋梁架替工事四百九十八万四千円、三ノ渡地内舗装百七十万円、脇神部落地内舗装百二十一万九千円、中央小学校残工事二百万円、南小学校用地購入百二十六万円、南部学校給食センター工事費四百九十八万円、同備品購入費六百万円＝原案可決

町税条例の一部改正

町民税、固定資産税とも、納期前納付の報償金の交付を、その額が十円未満である場合及び当該納税者の未納徴収金がある場合は、これを交付しないことに改正＝原案可決

鷹巣阿仁広域市町村圏組合設立について。

鷹巣阿仁広域市町村圏計画の策定に関する事務を共同処理するため、規約と[illegible]務組合の設立について、議会の議決を経る必要があるもので、組合を組織する町村は、鷹巣町、森吉町、阿仁町、合川町、上小阿仁村の四町一村となっております＝原案可決

七十才以上の老人医療費負担に関する事務についての意見の陳述について（議員提出）

町では現在、七十五才以上のすべての老人の医療費を負担しておりますが、年令基準を七十才まで引き下げ、昭和四十七年一月一日から町が負担するように、また「老人医療費支給対象者証」を町が有資格者に送付し、利用度が高まるように措置することの意見書は原案可決。

町立保育所設立等に関する請願書

町立保育所の設立。坊沢、七座地区に保育所の設立。保育定員の増。保育所設備の改善の請願は原案可決。

鷹巣阿仁広域市町村圏組合議員の選挙について

鷹巣阿仁広域市町村圏組合議会議員二名を町議会議員のなかから選挙するもので、村上儀八郎、間渕久蔵の両氏が選出されました。

森吉町外四ヵ町村病院組合議会議員の選挙について

森吉町外四ヵ町村病院組合規約改正により、町議会議員のなかから二名組合議員を選挙するもので、清水修智、長岐佐一郎の両氏が選出されました。

簾内、細田の両氏を教育委員に選任

簾内氏

細田氏

任期満了に伴う補充委員に簾内茂彦氏（五〇）。[illegible]貢氏辞職に伴う後任委員に細田敏明氏（三五）が同意されました。

なお、任期は簾内氏が四年、細田氏は一年となっています。

財産区管理会委員の選任について

栄、七座、沢口財産区管理会委員が、十月十六日任期満了となるので、後任委員を選任するもので、次のとおり決定しました。

▽栄財産区管理会委員
松尾市治、田村豊治、福原善一郎、小坂健二、亀山光雄、田村広士、本城谷鶴蔵。

▽七座財産区管理会委員
簾内多次郎、簾内甚太郎、戸沢類治、熊谷春治、野呂重光、三上兵一郎、大川武。

▽沢口財産区管理会委員
佐藤貞男、佐藤善治、千葉亀三郎、花田満、畠山東、中島健一郎、小塚武雄。

▽以上の外に九月定例会で可決された議案は次のとおりです。

▽昭和四十六年度鷹巣町沢口財算区特別会計補正予算。

▽昭和四十六年度鷹巣町栄財産区特別会計補正予算。

▽損害賠償の額を定めることについて。

▽秋田県町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約について。

▽鷹巣町議会委員会条例の一部を改正する条例制定について。

▽鷹巣町議会会議規則の全部を改正する規則制定について。

▽専決処分の承認について。

▽町道路線の認定について。

▽町道路線の区域を変更することについて。

▽町道路線の廃止について。

▽工事請負契約について。

▽森吉町外四ヵ町村病院組合規約の一部を変更する規約について。

▽継続審議として委員会に付託されたもの

▽決算認定について

▽昭和四十四年度鷹巣町継続費精算報告書＝以上は決算特別委員会へ付託。

▽鷹巣阿仁地域広域行政圏における組合立高校設立促進についての陳情書。

▽傷病恩給増額に関する意見書提出についての陳情書＝以上は、教育民生委員会へ付託

▽三の渡橋の永久橋かけ替えについての陳情書＝土木委員会へ付託。

責任をもとう あなたの 火災予防

＝通報は119番へ＝

町税滞納整理強調月間

10月1日～10月31日

納税も家計にいれてよいくらし

町税の納付は納期限内に

十月は、町税滞納整理強調月間となっております。町では滞納されている税金を納めていただくため職員が直接訪問しておりますが、税金はあくまで自主申告、自主納税が本来の姿でありますので督促や直接訪問など無駄な手数と費用をかけることのないよう納期内に完納されるようご協力をお願いします。

いままでの納税の状況を分析してみますと、

一、自主的に納期前の分も合せ全額納める前納者
二、納期到来のつど期限内に納める方
三、給料から差し引かれて納入する方（特別徴収）
四、納期限までに納めないで督促状を受けてから納付する方
五、督促状、催告状を発せられても納めない方

以上のように大別されますが、一から三までのように納税義務を立派に果たされる方がある半面、再三催告されても納めない方がおります。

税金は町の発展のためいろいろ建設的な事業の資金として使われますが、税金が滞納されるとそれだけ町の仕事もおくれることになりますのでよろしくお願いします。

町税滞納整理強調月間の目的

四十五年度分の滞納一千二百十八万円と、四十六年度の未納分約七千万円とを合せて整理するため特にこうした月間を定め一挙に収納率を上昇させることを目標としております。従ってまだ未納税がある方はこの月間中に必ず納付されるようご協力下さい。

前納報奨金制度の活用を

町民税、固定資産税を納期前に一括して納付されるとその税額の百分の一に前納月数を乗じて計算した額が報奨金としてもらえますので大変お得です。

この制度は納税人の意識を高揚するとともに、町の納税率が上昇し町の発展にもつながりますので積極的にこの制度を活用され自主納税にご協力を願います。

納税貯畜組合に加入を

納税貯畜組合に加入するといそがしい方でも、自分で役場まで納めに行く必要もなく、また納税通知書のきたこともつい忘れて滞納することもなく、組合が納めやすい仕組になっているので自然に自主納税が果されます。これこそ一ばん楽で民主的な納税方法かと思います。

これら納税組合に対しては町から事務費の補助とそのほか加入者にはいろいろ特典があります。

町内には現在八十八の納税貯畜組合が設立されておりますので、この機会にお近くの組合に加入されるか役場収納課にご相談においで下さるようお勧めいたします。

納税貯畜組合連合会新発足

鷹巣町納税貯畜組合連合会の設立総会は、九月二十九日役場会議室において開かれました。

現在、鷹巣町に町内、部落、職場を単位とする八十八の納税組合が設立されておりますが、これまで横の連絡が欠けている面があったので、組合間の連絡調整と納税思想の育成指導、加えて連合会の発展を期することを目的として発足したものです。

当日は、連合会の規約、予算を審議、続いて役員の選任を行なった結果次のとおり決定。連合会は正式に発足しました。

今後の発展が期待されます。

会長＝河田太茂蔵、副会長＝佐藤正、理事＝若松壽市、亀山栄蔵、津谷喜代治、小松惣一、佐藤作之助、簾内甚太郎、佐藤実、監事＝長崎兵三郎、宮腰耕一、

町税納期一覧表

納期・納期限 ／ 税目別	1期	2期	3期	4期
町県民税	6月	8月	10月	1月
固定資産税	4月	7月	12月	2月
国民健康保険税	4月	7月	10月	12月
軽自動車税	4月（全期）			

5の日は税の相談日

5日，15日，25日（その日が休日の場合は翌日）は税の相談日です。

町税は納期限内に完納して明るい町づくり

豊かな心でつなごう！
赤い羽根共同募金―

赤い羽根で親しまれている国民助け合い共同募金運動がことしも十月一日から十二月三十一日までの三ヵ月間全国いっせいに展開されます。

この運動は終戦直後、極度の荒廃にさらされた民間社会福祉事業を立ち直らせ、発展させるため昭和二十二年に発足した純粋な民間運動です。ことしで二十五回目になりますが、これまで多くの民間社会福祉施設の整備や恵まれない人々に対する援助を始め、地域社会福祉の向上が進められてきました。

ことしの町内での募金目標は約百万円になっております。（昨年の募金実績は、百二十四万九千七百六十五円）この運動は純粋な民間活動であり、助け合いと精神を基調とした運動であって、いいかえるならば社会福祉事業の社会化、大衆化ということです。町民はこの運動をとおして、一人一人が社会福祉活動に直接参加していることを意味するものであり、共同募金に寄せられる寄付金は人間だれしもが持っている尊い隣人愛、社会愛の発露といえるでしょう。

募金は、街頭募金、戸外募金、法人募金、学校職域募金等いろいろな方法で行なわれますが、この運動は押しつけや強制ではなく、町民の自発的な意志にもとづいて行なわれます。

募金で集まったお金は寝たきり老人や心身障害者、生活困窮者などの在宅援助、子どもの事故防止、遊び場つくり、老人ホームの建設等に、必要に応じて配分されます。明るい住みよい社会を築くために、この運動の趣旨をよく理解し、積極的な支援と協力されることを期待しています。

中川氏ら受彰
郡社会福祉大会

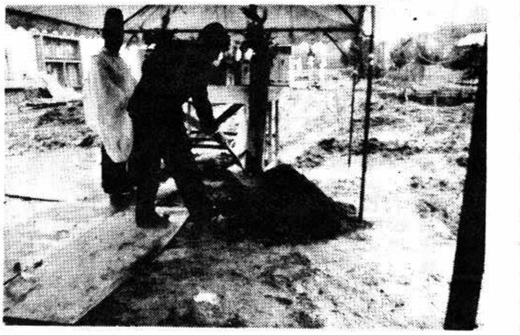
社会福祉事業法施行二十年を記念した、北秋田郡社会福祉大会は、九月三十日鷹巣町公民館に関係者多数が参加して開かれました。

席上、永年社会福祉事業に貢献した方々に顕彰が行なわれ、鷹巣町からは次の方々が受彰しました。

▼民生児童委員＝中川篤三郎、岩谷佐一郎、簾内チヨ、佐藤貞夫、畠山菊松、佐藤正、長岐富治郎、笹代多吉郎、柏木四郎。

▼施設関係＝伊藤恵子、山城京子、渡辺和恵、千葉重子、成田美智子、畠山ユリ子、関伸弘、加藤幹夫、佐藤敏則、三沢力一郎。

▼身障団体育成＝藤島儀市郎。



西小学校新築工事始まる

西小学校新築第一期工事の地鎮祭は、10月2日関係者多数が参加して行なわれました。

第一期工事は、鉄筋コンクリート三階建9教室で、工費は、38,200,000円となっております。

（写真は、鍬入れをする出川町長）

季節の話題

食欲の秋

夜が長いのは冬至のころですが、夏の短夜のあとなので、秋の夜はめっきり長くなったことをしみじみと感じます。だいぶ更けたと思って時計をみると、まだ宵の口だったりします。夜業に精が出、読書に身が入るのもこのごろです。

さて、この澄みきった空をながめ、空気も乾燥したさわやかな秋を迎え、食べものもみなおいしいときに、大いに食べて体力を養うことは、やがてやってくる、きびしい冬に耐えるために大切なことですが、腹いっぱい食べるということと、はき違えている人も多いようです。いくら食べ物がおいしいから、食欲があるからといって、腹いっぱい食べることは、決してわたくしたちの健康にプラスにはなりません。

いくら食べてもふとらない人がいます。また、見たところふだんあんまり食べてる様子もないのにブクブクふとってくる人もよくあります。いずれもどこかに原因があるわけですが、人間は、食べたらそれにふさわしい活動をして、エネルギーを消費しなければ消化不良や胃弱で、必ずその結果がからだに現われます。

このよい季節に、おおいに食べ栄養をつけるのは結構ですが、それに伴う運動をして、健康増進につとめたいものです。

全戸に郵便受箱を

郵政省では、今月を郵便受箱設置強調月間として、全家庭に郵便受箱をつけていただく運動を行なっています。

郵便受箱がない場合、玄関のスキ間やシャッターの下から差し入れるため、せっかくの手紙やはがきが土間に落ちてよごれたり、風にとばされたり、雨やまき水でぬれる場合があり、お互いにきまずい思いをします。

郵便受箱をつける場合は、風や雨から郵便物を保護し安全、確実に受け取る方法として、ぜひ通りに面したところにつけたいものです。

郵便局では、見本を備え、まだ受箱をつけていないご家庭の、便宜をはかっております。

ご希望の方は、郵便局の窓口あるいは郵便外務員に、お気軽にご相談ください。

税の窓

青色申告のおすすめ

申告納税制度が円滑に行なわれるために、毎日の取り引きを帳簿につけ、その帳簿に基づいて所得や税額を申告する人には、所得の計算上やその他の面で、いろいろ有利な取り扱いをする青色申告制度があります。

青色申告をすると、青色専従者給与や青色事業主特別経費準備金の必要経費算入など、数多くの特典があって、税金が少なくて済むほか、記帳することにより経営の内容や資金の状況などもわかり、経営の合理化にも役立ちます。

あなたも青色申告をどうぞ。

自衛官志願案内
（毎日受付・希望月入隊）

いま自衛隊では、国土を守る要員として若人の入隊を待っています。

満十八歳以上二十五歳未満の健康体の方であればどなたでも志願できます。

志願案内等詳しくは、役場町民課にあります。

勤労青少年の集いなど

11月2・3日　教育文化祭

第三回鷹巣町教育文化祭は十一月二日（火）三日（水）の両日、鷹巣町役場、鷹巣町公民館、鷹巣小学校の三会場で開かれます。

役場会場では、文化財展、書道展、生花展、銘石展、生活展（婦人）、お茶などとなっております。とくに文化財展では、機械化前の農具、照明器具、生活用具など展示を計画しておりますので、所有者の出品を要望しております。

鷹巣小学校会場では、小中学校の展示となっております。

公民館会場は、二日、弁論大会（鷹巣町七十年代のビジョン）勤労青少年の集い。

三日は、素人のど自慢大会、芸能大会、県民劇場などとなっております。

なお、弁論大会、のど自慢大会に出場を希望される方は、十月二十五日まで公民館に申し込みして下さい。

昨年の書道展

農地の転用、移動は許可が必要

農地の権利移動や転用の場合は、許可を受けなければなりません。

農地または採草放牧地の所有権移転をする場合は、農業委員会の許可。

自分の農地を自ら農地以外のものにする場合。農地の権利移動が伴なった転用の場合は県知事の許可が必要です。

許可申請は、毎日受付けておりますが、毎月四日の定例委員会で審査するため、二十五日を締切日としております。

これまでは、添付書類の不備等から次回にまわされることがたびたびありましたので、なるべく月の初めに申請するようにお願いします。

学資保険など新発売

簡易保険では、お子さんの教育資金づくりにピッタリの「学資保険」とお年寄の方の生活設計に役立ててもらうための「特別終身保険」を発売します。それぞれのプランに合せて加入をお勧めします。

また、郵政省では、今月を「住みよい社会をつくる郵便貯金奨励運動月間」として展開しております。これら郵便貯金や簡易保険は、大蔵省資金運用部資金として、わたしたちの学校や住宅、道路等公共施設の建設に融資されます。

道路の占有はやめましょう

成果あげた秋季交通安全運動

町民総ぐるみの秋の交通安全運動は、あらゆる機関、団体の協力を得て、大きな成果のうちに終ることができたことを感謝いたします。

特に、運動期間中に行なった「道路不法占有の点検」では、六十件の口頭や文書による撤去通告がありましたが、撤去指定期日までわずか二件をのぞき撤去されるなど、成果をあげることができました。

これからは、一時的な道路使用の場合でも、道路管理者の許可を得て使用するなど、道路を広く利用したいものです。

毎日を交通安全運動期間中同様、「交通安全」を強力に推進するよう、ご協力お願いします。

▶十月一日＝ブラバンによる交通安全パレード

ライオンズクラブ寄贈の交通安全塔

町職員資格試験を行ないます

町職員採用資格試験（第一次、第二次）を行ないます受験希望者は秋田県町村職員資格統一試験要領（鷹巣町において事務に従事する職員の採用試験）により、受験申し込みください。

○採用予定人員

事務　男　二人

○受験資格

①学校教育法による高等学校及び短大、大学を昭和四十六年三月以降に卒業した者、又は昭和四十七年三月までに卒業見込の者

②欠格事項

日本の国籍を有しないもの禁治産及び準禁治産者、禁固以上の刑に処せられその執行を終るまで、又はその執行を受けることがなくなるまでの者は除かれます。

③試験の方法

試験は第一次（教養）第二次（口述試験、作文、身体検査、身上調査）と第二次試験は第一次試験の合格者に対してのみ行ないます

④試験日及び場所

第一次試験　昭和四十六年十一月十三日（土曜日）第一次試験場は受験申し込数の状況により決定の上受験申込者に通知します。

第二次試験　昭和四十六年十二月中旬鷹巣町役場（第一次合格者に通知します）

⑤合格者発表

第一次合格者（四十六年十一月下旬）第二次合格者（四十六年十二月下旬）の発表は役場前掲示場に掲示するほか、合格者に通知します。

⑥合格から採用までの経路

合格者は任用候補者名簿に登録されそのうちから採用者が決定します。

⑦給与

町の給与に関する条例の定めに従い支給します。

⑧受験手続及び受付期間

（申込用紙の請求）昭和四十六年十月八日から十月二十八日まで「勤務時間内」に鷹巣町役場総務課庶務係あて申込み下さい。郵便の場合は「職員資格試験申込用紙請求」と朱書し十五円切手をはった返信用封筒を必ず同封して下さい。又十月二十八日までの着信のものに限り受付けします。提出書類は申込書一部

⑨その他くわしいことは、役場総務課庶務係へ問い合せ下さい。電二―一一一一内線二四一

出かせぎ合同選考会

10月28日　五十社が参加

出かせぎの時期が近づいてきました。

秋から春先にかけての農閑期に出かせぎを希望している方々のために、求人説明と採用選考会が、十月二十八日午前九時から、鷹巣町役場三階大会議室で開かれることになりました。

当日は、東京、神奈川、千葉、埼玉、静岡等の都県から約五十社の担当者が参加し、求人説明と採用選考を同時に行なうものです。

ドルショックで職場の選択にお困りの方や今年はじめて出かせぎをご希望の方は、お互に誘いあって合同選考会においでください。

なお、グループの場合はリーダーの方が代表しておいでになっても結構です。

出かせぎ先を決めるときはつぎの事項に注意して下さい。

▼今年の出かせぎ状況は昨年と変っております。就労先の内容をよく調査し、安定所の紹介を受けて下さい。

▼求人数が昨年より少ないので、一日も早く自分にあった就労先を決めて下さい。

▼就労は、必ず二人以上の集団でするよう心掛けて下さい。

▼就労する方は、就労手帳を受領し、互助会に加入するようにして下さい。

▼出かせぎ者の相談は、各農協、役場商工観光課、安定所で行なっております。

西小学校で統合記念運動会

ことしの四月、四校統合なった西小学校の記念運動会は、秋晴れの十月三日新設のグランドに、学区父兄や来賓など多数が参加して行なわれました。

競技は、一年生の六十米競争に初まり、五・六年の持久走など楽しさいっぱいのプログラムに元気いっぱい走り、勝っても負けても、最後まで「力いっぱい努力する」西小ッ子の意気にグランドいっぱいの父兄から拍手が贈られていました。

出かせぎ者に手紙を贈呈

鷹巣郵便局では、出かせぎ者と留守家族の連絡に使用して下さいと、十五円封書手紙三百五十枚を贈られました。

町では、出かせぎ互助会加入者に配付することにしています。

内職希望者説明会　十一月五日

秋田県内職センターと鷹巣町では、内職普及のため十一月五日午前十時から午後三時まで役場三階会議室で内職説明会を開きます。

これから内職をやってみようと考えている方、内職を研究してみたい方、手芸の好きな方などを対象におこなわれます。

説明会終了後、内職希望者が一職種十名程度まとまると講習会を開き、責任をもって内職を提供することになっています。

役場勤務時間の変更

役場では、例年実施しております冬期間の勤務時間の短縮について、今年度は次のとおり実施することになりましたのでご了承ください。

▽実施期間＝四十六年十月十八日から四十七年三月二十九日まで

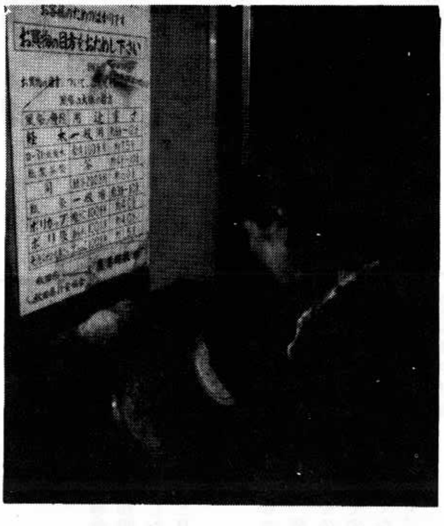
▽勤務時間＝午前八時三十分から午後四時三十分まで。ただし、土曜日は午後零時三十分までとなっております。

パブリックスケールを利用しましょう

消費者が買った商品の量目が、正しいかどうかためすことができるよう町では、スーパー伊徳、鷹巣食品店の二ヵ所に「ためし秤」を置いて、消費者が自由に使えるよう便宜をはかっています。

勇気をだして利用しましょう。

量目の不足は、お金を多く払ったことと同じです。



一〇〇番から　お願い

市外通話をするとき「一〇〇番へ申し込むもの」っておる方がまだまだおります。

一〇〇番への申し込みは、

▽電話を貸したとき、

▽どうしてもその場で料金の支払いを済ませるとき、

▽赤電話を利用したとき、に利用するようにしたいものです。ダイヤルで直接かけますと、お話しなさった時分だけの料金ですから一〇〇番の利用より相当割安となります。

市外局番は電話帳についております。特に新規加入の方々は、最初からダイヤル発信の習慣をつけましょう。

列車時刻表の訂正

鷹巣駅から配付されました十月一日改正の時刻表のなかで、下り急行「はちまんたい」の盛岡着時刻十七時六分は二十時五分のまちがいですので訂正お願いします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

▽太田境＝工藤直一郎さんから亡母、ソヨさんの香典返し三、〇〇〇円

▽前山＝野呂亀吉さんから亡母、タキさんの香典返し、一〇、〇〇〇円

▽脇神＝花田富美さんから亡長男、憲作さんの香典返し、一五、〇〇〇円

▽旭町＝三沢鶴治さんから亡養女、聖子さんの香典返し、二二、〇九三円

▽北鷹巣＝佐藤栄一さんから亡母、カツさんの香典返し、一〇、〇〇〇円

たばこは町内で買いましょう